■GGG+フォーラム2018 in Kenya　アフリカのUHCとSDGsの実現に向けて

■2018年7月31日（ケニア・ナイロビ）

■参加者

世界エイズ・結核・マラリア対策基金（Global Fund）、Gaviワクチンアライアンス、グローバル・ヘルス技術振興基金（GHIT）、ケニア国保健省、現地NGO、日本国外務省、独立行政法人国際協力機構（JICA）、日本貿易振興機構（JETRO）、国際機関、民間企業、アカデミア等

■内容

①ケニア・ナイロビ市の水・衛生事業には巨大な人口に対応できるキャパシティがなく、同市在住500万人のうちシステムを享受できているのはわずか200万人である②ケニヤッタ病院では運転資金が足りず、1年に亘って活動が滞っている③特に最貧困層において保健医療サービスへのアクセスを向上させる必要があり、そのためにUHC（ユニバーサルヘルスカバレッジ）を推し進める必要がある―といった課題がフォーラム参加者の間で共有された。国際協力機構（JICA）は「誰一人残さない」ことを約束し「民間セクターと連携し、技術・専門分野に投資をし、より効果的な保健分野に関する商品やサービスを提供する必要がある」と述べた。